

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 1月 18日

【評価実施概要】

事業所番号	0174700807		
法人名	株式会社アルムシステム		
事業所名	グループホーム北札内ふれあい館 1・2		
所在地	幕別町札内新北町77- 5 (電 話) 0155-55-6650		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 1 番地		
訪問調査日	平成19年12月3日	評価確定日	平成20年1月18日

【情報提供票より】(19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14年 12月 20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 12人, 非常勤 5人, 常勤換算	10.67人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1~2	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	38,000~52,000 円	その他の経費(月額)	24,000~29,300 円
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		700 円

(4) 利用者の概要(10月 1日現在)

利用者人数	17 名	男性 4 名	女性 13 名
要介護 1	5	要介護 2	5
要介護 3	4	要介護 4	3
要介護 5	0	要支援 2	0
年齢	平均 83 歳	最低 65 歳	最高 93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	十勝の杜病院・みずほ通り歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は閑静な住宅街に立地し、敷地内には同法人系列のシニアマンションやデイサービス事業所等が建てられている。事業所 2 階には広いウッドデッキが設けられ、洗濯物を干すほかに日光浴をしながらお茶を楽しむなど、利用者が寛げる場所を確保している。また、職員は利用者から教えてもらいながら一緒に花・野菜の栽培を楽しむなど、支え合う関係を築いている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題であった職員の異動について、十分な引継ぎ期間を設けるなど、改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で話し合い、意見交換を行いながら自己評価に取り組んでいる。また、日々のケアサービスを振り返る機会と捉え、更なる質の向上に向けて取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	家族代表・地域住民・地域包括支援センター職員を構成員とし、2ヶ月に1度運営推進会議を開催している。会議では事業所の運営状況・職員異動・行事案内等について報告して意見交換を行い、会議での意見を事業所の運営に活かしている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	重要事項説明書に事業所内部・外部の苦情相談窓口を明示し、入居時に家族に説明している。また、運営推進会議開催時や家族の来訪時に職員は積極的な声かけをし、家族が気軽に意見・要望等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会に加入し、地域の活動に参加している。また、2ヶ月に1度便りを発行し町内に回覧したり、事業所の行事に近隣住民にも参加してもらうなど、地域との交流を図っている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「社会とのつながり」を盛り込んだ事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンス時に話し合い、実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、地域の行事に参加している。また、事業所便りを町内会にも回覧してもらうなど、地域との交流に努めている。	○	今後も、より一層地域と交流を深める取り組みが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で話し合いながら自己評価を行っている。また、自己評価・外部評価等の結果を運営推進会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し、事業所の運営状況・行事等について報告している。		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	町の担当者と連絡を取っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	月に1度職員手書きの便りを家族に送付し、利用者の暮らしぶりや金銭管理等について家族に報告している。また、家族の来訪時にも利用者の様子を伝えている。		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族の来訪時や電話にて意見・要望等を伝えやすい雰囲気づくりに努めている。		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員の異動があった場合は十分な引継ぎ期間を設けるなど、利用者へのダメージを防ぐよう配慮している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員は入社時研修や管理者研修等の内部研修や、外部研修に積極的に参加している。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	グループホーム協議会に加入し、同業者と交流することによりサービスの質を向上させるよう取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	事前に利用者本人・家族と面談し、何回も事業所見学をしてもらうなど、利用者が徐々に事業所に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀れを共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	調理方法や畑作業など、利用者が得意なことを職員は教えてもらいながら一緒に行うことが多く、支え合う関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の生活歴を踏まえ、一人ひとりとの会話から希望・意向の把握に努めている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員は利用者・家族の意見・要望を採り入れながら職員間で話し合い、介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1度見直しを行うとともに、利用者の状態に変化があった場合はそのつど話し合い、新たな介護計画を作成している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院の送迎や外出時の付き添いなど、利用者の要望に応じた支援を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者それぞれのかかりつけ医への受診支援を行い、適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化・終末期の方針について家族・医師と話し合い、情報の共有を図っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員は利用者のプライバシーを損ねることのないような声かけや対応を心がけている。また、個人情報の取り扱いにも配慮し、適切に対応している。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	職員は利用者のペースを大切に、買い物などの外出や出前を取るなど、一人ひとりの希望に応じた支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の好みを取り入れた献立を作成したり食事の準備や後片付けなどを職員と利用者が一緒に行い、食事が楽しみなものになるよう支援している。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>時間帯・曜日など利用者の希望に応じた入浴支援を行っている。また、同法人系列のシルバーマンションで温泉を利用するなど工夫している。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事の準備・畑作業・裁縫など、一人ひとりの生活歴や趣味を活かした支援ができるよう取り組んでいる。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩・買い物・外食・映画など、利用者の希望に沿った外出支援を行っている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、日中は鍵をかけずに利用者が自由に出入りできるようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、隣接しているシニアマンションと合同で防災訓練を実施している。また、訓練実施については地域住民や運営推進会議の構成員にも事前に伝えており、協力が得られるよう働きかけている。	○	今後も定期的な避難訓練を実施し、緊急時に備えることが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者の食事・水分摂取量を把握している。また、栄養士が献立を作成しており、栄養バランスの取れた食事内容になっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には行事の際の写真を貼ったり、季節に応じた飾りつけをするなど、利用者が季節感を感じられるような工夫をしている。また、音・光にも配慮し、利用者が居心地良く過ごせるような空間になっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた物が持ち込まれ、また、台所・トイレが設置されるなど利用者が安心して過ごせるよう工夫している。		

 は、重点項目。